



認知症は病院で悪化する？！

Kばあさんは78歳。大病があるため すぐ熱を出して救急車で運ばれるのも3回目になる。病院に入院するとすぐに点滴の治療が始まる。認知症があるため本人には十分な説明をしないまま、家族に「点滴を抜いてしまうと命の危険性があるから」と、抑制することの同意書にサインするよう医師から言われ…。

入院中、認知症のKばあさんが動かないように身体や腕を縛られる。毎日「お父さん、お母さん、助けて…」と、夜中でも大きな声を出し、個室へ移され高額な部屋代を支払うことに。病気が落ち着き退院すると、病院から多量の抗精神薬が処方され、一日中ボーっとしている。日常生活動作（ADL）が低下するばかりか、認知症が進み家族の介護負担は大きくなる。更に昼夜逆転し、夜は入眠せず一晩中ウロウロと落ち着かない。

周囲は、困り果て 精神科の病院に入院し、薬のコントロールをしてもらうことになり、今は『ケアホーム希望』の泊りのサービスを利用し、待機している。

家族の悩みは精神科に入院しても、病気が再発し病院に入院することになると、“また薬漬けになるの??”と、家族の不安は絶えない…。



老♥老介護の夫婦愛

誰もが、いつかは介護する側、される側になる?? 長年連れ添った夫婦。妻を介護し続けてきた夫が倒れて入院…。

病院のベッド上で意識がもうろうとする中、聞こえるのは医師の声。

「今は油断できない状態」と、担当医師から娘へ説明している。

認知症の妻を残して…、病気の妻をおいては逝けないと、三途の川を渡らずに、元気に退院して妻の元へ…。

妻の通う『ケアホーム希望』に今月から夫婦で利用

することとなり、「久しぶりに一緒に食事をすることができた」と、喜んでいる。



寝たきりの妻の介護をしていた夫は、ある日 突然 腸閉塞をおこし緊急入院。手術をして無事に退院できた。

妻は現在『ケアホーム希望』で泊りのサービスを利用中であるが、「早く家に帰って夫の生活をみてあげないと夫の生活が乱れてしまう」と…。

介護されている妻は、夫にとって、精神的な介護をする側であった。

敬意と笑顔を忘れない

私は介護の仕事をして11年になります。自分がいつも心がけていることは、利用者さんに対して、敬意と笑顔を忘れないことです。たくさんの経験、苦労話し、昔話し、知恵袋…。人生の先輩として学ぶところがたくさんあり、毎日がとても楽しいです。しかし、時には今までずっと一緒にいた利用者さんが亡くなることもあり、家族とともに悲しい思いを数多くしました。でも、今はその時々の一瞬一瞬を大切に、ケアを行っています。“一期一会”をチームの合言葉として、みんなで頑張りたいと思います。

『ケアホーム希望』職員 中島良子



毎日の活動の様子

???



ワタシの
イッてるコト
ワカリマスカ?

早く
帰りたい



今日のおやつは
たこ焼き?

言葉は分からなくても
雰囲気でのコミュニケーション
が取れています。

おやつ作り



こうするんだよ

どうやって
折るんだっけ??



ちょっと
私のケーキが
小さいみたいだけど…
気のせい??

祝



3月は3名の誕生日会をしました。
お誕生日 おめでとうございます!

ハッピー
バースデー!



今年も素敵なお花を
ありがとう!

食事風景

『ケアホーム希望』では、栄養素を摂取するためだけではなく、味を楽しむことはもちろん、四季を感じる旬な野菜を地元の八百屋さんに届けてもらい、色を楽しむため食器や盛り付けに工夫し、テーブルにはお花を添えたり、毎日の食事を楽しみます。

